

2018 年度山城ブロック 宣教司牧計画

ブロック長期計画

「お互いに祈りと学びを大切にしながら
地域に対して福音宣教をしていく教会共同体となっていきましょう。」

* 宣教司牧計画の考え方

- ・2012 年に制定された長期計画は、この地域の教会共同体の歩むべき方向性を示すものとして立案されています。
- ・2－3 年規模で取り組むビジョンを中期計画とします。
- ・それを該当年度で具体的にを行うものとして短期計画を制定しています。

ブロック中期計画

＜中期①＞ブロック国際協力部の更なる充実・発展を目指します。

今年度も当地域に居住就労している多くの外国籍信徒や信徒ではない家族と共に、国際協力部は地域共同体（山城ブロック）が福音宣教していく共同体となるために奉仕します。また外国籍信徒たちの小教区への登録と維持費納入については継続して取り組んでいきます。

各小教区においても国籍を越えた共同体づくりを推進します。

＜中期②＞ブロック部会の活動に取り組みます。

ブロック部会として機能している広報部会や国際協力部会や教育部の活動に取り組みます。

＜中期③＞青少年の育成への支援をします。

ブロック教育部は地域教会の子どもたちがキリスト者として自信・誇り・喜びを持って生きていけるような活動をしていきます。また教区主催の中高生会やアジア体験学習、そして WYD に参加する青少年たちを積極的にバックアップし、小教区やブロックの中で体験や気づきを分かち合っていきます。

また子供達に関わる行事に際して教育部と国際協力部の連携を模索します。

＜中期④＞高齢化に対する取り組みを充実させます。

- ・高齢化に伴い、ミサに参加したくてもできない方に対し、病床訪問などを行ってきました。今後、進んでいく高齢化の課題に対し、どのようなケアができるのか、考え、取り組みます（病床訪問、はがきや印刷物の送付など）。また、地域社会の高齢化の問題に対し、どのような協力ができるかを考えていきます。
- ・一方、祈るために集い、共同体における交わりを喜びとしている高齢者の信徒がいるこ

とにも心を向けたいと思います。若い頃のように活動ができないという否定的な側面ではなく、今できる事に目を向け、共同体における居場所づくり、奉仕・参画のあり方についても考え行動していきます。

ブロック短期計画

中期計画で提示された4つの項目について、それを具体化していくために以下の項目を今年度の短期計画とします。

<短期①>ブロック国際協力部関連（中期計画の①）

- ・ 国際ミサ（英語・日本語混合） 第5日曜日 田辺教会
- ・ 国際交流パーティー クリスマスの国際ミサ後の年1回 田辺教会
- ・ 国際黙想会 (年2回) ブロック内教会
- ・ 山城ブロック国際交流ハイキング 年2回
- ・ フィリピンコミュニティデー 月1回 宇治教会
- ・ 通常の土曜日夜の主日ミサ後
- ・ 主日ミサ後 国際部 分かち合い 八幡 第1日曜日、田辺 第3日曜日、宇治 第4日曜日

<短期②>ブロック部会活動関連（中期計画の②）

- ・ ブロック広報部会 広報誌発行 年3回（復活祭・降誕祭・被昇天を目安に）

<短期③>青少年の育成と支援（中期計画の③）

- ・ ブロック教育部関連
 - * 国際協力部と連携しながら、春と秋の行事を計画します。
春の行事：ブロック大会 秋の行事：ブロック交流会
 - * クリスマス会（聖劇・クリスマスパーティー）（田辺教会）
 - * 中学生から青年までのグループ
堅信の秘跡について呼びかけ、小教区で準備をすすめていきます。
 - * キリスト者として生きていく子どもたちを育てている父兄を支えていく活動を模索していきます。
 - * 子供たちを念頭に置いた行事 年に1回
- ※いずれも教会の子供たちを通じて未信者の子どもたちや父兄を歓迎します。
- ・ 青少年活動への支援
ワールドユースディ、アジア体験学習等、海外への参加経費を支援します。
また体験の分かち合いをブロックで行います。

<短期④>（中期計画の④）

- ・2017年度より老いを考える集いが始まった。医学的観点、また信仰の視点からの老いについての学び、遺される者への配慮（遺産の問題、遺族の心のケア）について学んだ。この取り組みを継続し、学びと心の準備の機会としたい。
- ・病床訪問。小教区によっては既に病床訪問のチームがあるところもあるが、ブロック全体としては行き届いてない部分もあり、短期計画として取り組んでいきたい。

<短期⑤>ラウダート・シについて学ぶ

- ・基本的な学びから始めたい。（なぜ環境問題が教会で取り上げられるのか？など）
- ・年頭書簡、原発に関するリーフレットなどを読む